

コード	3388	事務事業名称	特別支援教育振興事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			通常の学級に在籍する学習障害やADHD、高機能自閉症等、特別支援学級や通級指導教室において指導を受ける障害のある児童生徒に対し、より一層、個に応じた教育を受けたいという子どもや保護者（市民）のニーズが高い事を踏まえ、特別支援学級介添人に加え、新たに特別支援教育支援員の配置を行い、併せて特別支援教育コーディネーターの研修、特別支援学級介添人や特別支援教育支援員の研修等を通し、一層の資質の向上を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			子ども一人ひとりの教育的ニーズや、家庭・地域からの教育的ニーズに対応した、人的環境を含めた教育環境の整備が強く求められているため	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
社会のノーマライゼーションの進展、教育の地方分権化の推進、特殊教育から特別支援教育への移行等、障害児教育をめぐる状況の変化を踏まえて、障害のある児童生徒一人一人の特別な教育的ニーズに応じた適切な教育が行われるよう就学の在り方を含め、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導のシステム、制度等の見直しが図られている。通常の学級においても、特別支援教育支援員の配置が必要である。一人一人の障害の程度が異なる児童生徒を教育する上で、その果たす役割は大きい。									

所属長コメント	障害のある児童生徒一人一人のニーズに応じた教育が求められている。そのためにも質の高い特別支援教育を展開したい。介添人・特別支援教育支援員の配置が果たす役割には大きいものがあり、今後も充実していく必要がある。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			臨時的任用職員で可能なことを整理し、可能なことであれば推進すべき。また、対象が拡大されたことから、今年度の結果を振り返って検証を行う。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									